



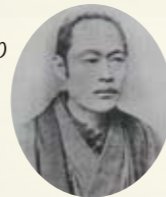
# 愛知県治水事業の進展に 貢献した二人の人物

くろかわ はるよし

## 黒川治愿

〔弘化4(1847)年-明治30(1897)年〕

〔岐阜懸郷土偉人傳〕より



■黒川治愿は、明治8(1875)年から18年までの10年間、愛知県の初代土木課長として当時の土木行政を担った人物であった。愛知県土木費支弁法が審議される際に県会で説明を行っている。

■黒川治愿は、庄内川分水黒川水路開削、新木津用水改修、三郡治水工事、新川洗堰修理、郷瀬川の付替などの水利事業および治水事業に大きな功績を残した。その業績を記した記念碑は県下数箇所に現存する。

■報徳碑は、新木津用水改修において、上下流の村々の利害の対立の調整役として任務を果たした黒川治愿を讃える碑文であり、春日井市御幸町の八田川堤防上に建てられた。



### ◆報徳碑

勝川字新聞之地數十町荒野薄田不耕者年久矣先人曩起開墾之業設灌漑之法當時時多太歲等諸子移居於此里率先勉播種而今一望悉穰田也抑諸子努力之功與有力也然頃日諸子來曰昔日奴輩流離顛沛而來此地會蒙先君之恩願安業聊生若微先君何有今日乎仰遺恩之情難禁欲請君文銘貞珉永誌子孫嗚呼受施無忘者子等庶幾乃不辭錄其由併刻建碑者之姓名於背後  
明治四十二年十二月  
從七位 黒川耕作 識



庄内川の水を配分するために造られた堀川の黒川樋門

みず たに たかし

## 水谷 鏘

〔明治25(1892)年-昭和35(1960)年〕

■水谷鏘は、大正から昭和の戦前にかけて、名古屋市、愛知県、内務省土木局に技師として勤務した。

■大正11(1922)年に愛知県に赴任し、進展していなかった日光川下流の樋門計画を見直し、関係地域の調整を行い、着工に至る。

■愛知県内の矢作古川、境川・逢妻川、新川・五条川、梅田川、矢田川、新郷瀬川などの主要な河川についても、計画を立案し、事業化を図り、愛知県の中小河川改修の基礎を作った。

■中小河川の改修計画立案に際して、洪水到達時間内最大強雨を用いた洪水量の算出方法(現在の合理式法にあたる)を採用した。この算出方法の基礎となる降雨強度曲線は明治23(1890)年から大正14(1925)年までの36年間の1時間雨量の観測資料から作成されている。明治22(1889)年当時の知事はこの観測の必要性を認識して、県会の審議においてその予算が否決された後、原案執行の手続きを経て、実施したとされる。

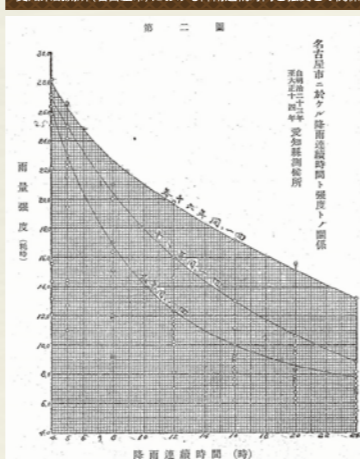


矢田川上流に完成した山口堰堤(瀬戸市)での記念写真。水谷鏘氏は左から3番目の人物と考えられる。(昭和10年頃)



境川・逢妻川河口背割堤

愛知県観測所(名古屋市)における降雨連続時間と強度との関係



出典:「名古屋高等工業学校創立25周年記念論文集分冊土木科」より抜粋

# 明治・大正・昭和 近代河川改修事業跡

- P1 日光川水系について
- P1 ▲河口縮切に至る経緯
- P2 ▲日光川樋門の施設規模とその効果 ▲日光川水閘門の施設規模とその効果
- P3 ▲沿岸排水改良事業における支川排水ポンプ設置
- P3 ▲蘇東耕地整理における日光川と野野川の改修
- P4 ▲日光川の治水緊急3ヶ年計画・河川激甚災害対策特別緊急事業 ▲河口ポンプの設置
- P5 矢作川水系について
- P5 ▲矢作古川の改修 ▲鹿乗川の改修
- P6 境川、逢妻川、猿渡川について
- P6 ▲境川の改修 ▲逢妻川の改修 ▲猿渡川の改修
- P7 庄内川水系について
- P7 ▲庄内川(枇杷島付近)の「中島」撤去
- P8 ▲矢田川の河道付替と低水路工事
- P9 ▲新地蔵川の開削 ▲新川圏域内の主要河川である合瀬川、五条川の改修
- P10 災害について
- P10 【東海豪雨】▲気象概要
- P10 ▲新川河川激甚災害対策特別緊急事業 ▲天白川河川激甚災害対策特別緊急事業
- P11 ▲昭和47年7月災害 ▲昭和47年7月災害【小原藤岡の一定災】
- P11 ▲昭和49年7月災害 ▲昭和49年7月災害【梅田川の改修】
- P12 ▲昭和51年9月災害 ▲昭和51年9月災害【阿久比川の激特】
- P12 【東南海地震、三河地震、南海地震】▲油ヶ淵水系災害助成事業
- P13 P14 県予算制度、改修事業の歴史
- P15 愛知県治水事業の進展に貢献した二人の人物 「黒川治愿」「水谷鏘」

地形図、旧版地形図、空中写真は、出典:国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>) 地図、空中写真閲覧サービスを加工して作成

お問い合わせ先

愛知県 建設局 河川課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL:052-954-6555 2020年9月発行

監修: 治水史研究者 安井雅彦(工学博士)

